

藤枝市制50周年事業

2004 豪州・ペンリス市 春ゆめの大自然交流合宿

Our dream has come true!

みなさん、オーストラリアの合宿本当にお疲れ様でした！！

交流合宿報告会はどうでしたか？これから、この合宿で得たたくさんの出会い、感じた気持ち、決意を忘れずに過ごして行って下さいね。

そして、この合宿に参加できたことは、お父さんやお母さん、たくさんの人の協力があってこそです。みんな心から感謝しましょう。

今日は久しぶりにみんなに会って元気な顔を見ることができて嬉しかったです。みんなで集まる機会は、これが最後になるかもしれないけど、これからもみんなからの元気な報告待っています。

これで、2004年豪州・ペンリス市 春ゆめの大自然交流合宿 実施報告会を終わります。
リーダー M.M.

(5/9 実施報告会で、司会者が指名し忘れ、“幻の”閉会の言葉に)

- 目 的
- 1) 大自然の素晴らしさを体感し、自然保護の大切さを知る。
 - 2) 異年齢の仲間達と群れ集う中で、自分を知り、仲間を知り、群れ集う素晴らしさを体得する。
 - 3) 仲間達との交流を通じて新たな人間関係の構築を図る。

主 催 特定非営利活動法人 静岡県教育フォーラム

藤枝市国際友好協会

ペンリス市国際友好協会

後 援 藤枝市、藤枝市教育委員会

協賛企業 (株)西野商店様、(株)中央防犯様、(株)消防設備保全(株)様、(株)サンワ開発様、がんまめファミリー倶楽部様、(有)カー牧場リベロ様、(株)ニッシン様、静岡オープンスクール

協賛者 (掲載のご同意が取れませんので、3名様のお名前は差し控えさせていただきました。)

会 場 オーストラリア・ペンリス市

日 程 平成16(2004)年4月1日(木)～4月5日(月)

第1日目1日

12時、スタッフ集合。12時半、参加者、藤枝市役所集合。

13時、マイクロバス2台で出発。昨年も参加して頂いた消防設備保全(株)会長(当時、故人)より参加者にジュースの差し入れあり。バスの中で学校訪問時に披露する歌の練習、大いに盛り上がる。足柄、幕張SEで休憩。

18時過ぎ、成田空港着。出国手続き後、夕食。15分遅れの21時、成田空港発。QF022便。

約 15 分後、安定飛行体制に。各座席について TV でゲームに夢中になる参加者多数、それに付き合う(?)リーダーも。22 時 45 分頃からお寿司、又は牛丼の夜食。娘さんが結婚してペンリス市に住む、S 市在住の元神風特攻隊員・O 氏が尋ねて来る。本企画が前日 (3/31)、オーストラリアの新聞・デイリーテレグラム朝刊で紹介され、O 氏が乗る同じ飛行機でペンリス市に来ることを知った娘さんが、O 氏にその旨電話してきたとのこと。1945 年 11 月特攻予定で 20 歳にて死を覚悟するも、8 月の終戦で早稲田大学に復学。貴重なお話を聞く。24 時には殆どが就寝。

第 2 日目 2 日

3 時頃、乱気流で機体が揺れるも昨年よりも揺れが少なく、直に収まる。4 時目が覚め、再び TV ゲームに興ずる現代っ子あり。5 時、チーズオムレツか、鮭のグリル焼きの朝食。8 名程、緊張で睡眠不足に。

7 時 5 分、シドニー空港着。入国手続き後、8 時過ぎ、ペンリス市へ。

中高生—9 時半過ぎ、キングスウッド高校到着。Buddy と対面、モーニングティ。ドラマルームで、演劇を鑑賞。その後、バレーボール&テニス、クッキー&アボリジニー絵作りの授業に参加。昼食後、再びドラマルームで、歌&ダンスを鑑賞。参加者全員で Buddy 達に「さくら」を合唱。4 時、宿舎・ケーブルスロッジへ。

小学生—10 時、ケーブルスロッジへ。荷物整理、モーニングティ。12 時ジャミソントウン小学校訪問。Buddy と対面、昼食。ダンスの競演が自然発生、盛り上がる。Buddy の授業に参加、Buddy 達に書道と折り紙を指導。15 時 15 分、ケーブルスロッジへ。

共に、ロッジにて、シャワー&休憩。一部は浴衣に着替える。17 時 45 分、ロッジからペンリス市役所に。

18 時~19 時半、公式歓迎会。浴衣姿に感動の声漏れる。プロジェクターを使って、当フォーラムと今回の企画の実施過程を紹介。Buddy も参加して日本の遊びに興ずる。

19 時 45 分頃、ロッジに到着。

20~21 時、Buddy 達 H がロッジに来てくれ、一緒にピザパーティー。参加者・Y 君 (小 6) の誕生日を祝う。疲れから数名が、途中退席して休む。21 時半、殆どが就寝。22~23 時、スタッフミーティング。

第 3 日目 3 日

6 時起床、朝食。8 時半、ロッジを出てショッピングセンター・ペンリスプラザに。

9 時~11 時半、Buddy 達と合流して、買い物。ジェスチャー混じりの英語で悪戦苦闘。Buddy 達の優しい対応で大いにショッピングを楽しむ。

12 時、Tench Reserve にてバーベキュー。13 時~15 時半、気温 27, 8 度、快晴の中、ドーナツ食いレース (翌日の地元紙に、写真で紹介される)、卵運びリレー、サッカーボールでの的当てゲーム。当フォーラムのリーダー達が「人間知恵の輪」と「神輿リレー」を指導、大いに盛り上がる。

16 時、ロッジ着。ロッジにてシャワー&休憩。心理テストを採る。変化した参加者、多数。

17時45分、ロッジを出てジャミソントウン小学校へ。

18～21時45分、送別会&ブッシュダンス。後藤・藤枝市国際友好協会会長（当時）、山下・当フォーラム理事長のほかに、参加者を代表してM姉妹が、リーダー代表としてミカちゃんが挨拶する。食事の後、参加した小学生が「おもちゃのチャチャチャ」を歌う。そして、リーダーアヤ、セイ、N君らによるブレイクダンスショー。サークルでのバトルショーでは、参加した中学生のAさんが、Aさんコールに推されてバクテン宙返りを2回披露（本編「二人三脚の苦悩」で登場します）、リーダーのKさんがクラシックバレエを披露、リーダー・Sやセイ&カイ（当時小2、ペンリス市国際友好協会会員の子、母親は日本人）もパホームスを披露、大変盛り上がる。最後のブッシュダンスでは、感動の涙があちこちで見られる。22時過ぎロッジ着。

22時半、就寝。その後、スタッフミーティング。

第4日目4日

6時半起床、朝食。荷造り。オーストラリアでは6ヶ月振りの雨。

9時、ケーブルスロッジ発。オリンピック会場・ホワイトウォータースタジアムを見学、カヌーやボート練習も見る。カヌーをやるリーダー達は手がうずき始める。

10時、ホワイトウォータースタジアムを出てネピアン川船着場に。

10時半～12時、ネピアンベル号でクルージング、モーニングティ。陽気な船長さんが、参加した子ども達にも舵を取らせてくれ、みんな大感激する。最後には船長さんが弾き語りを披露、みんな拍手喝采。



12時過ぎ、ロッジへ。

12時半、ロッジにて昼食。

13時半、ロッジを出てフェザデイル動物公園を見学。コアラベアを抱くことができ、感激した子も。お土産も十分買い、16時にロッジに戻る。シャワーも浴び、軽食。

18時、ロッジ発。

19時シドニー空港着。まだ雨が降り続く。予定より10分遅れて22時25分、シドニー空港を出発。QF021便。離陸直後から前方の天井から水が漏れ、15分程流れて止まる。安定飛行体制後、すぐにチキンカレーか牛肉の炒め物の夜食が出る。24時前には殆ど全員がぐっすりと眠り込む。

第5日目5日

4時、エッグケーキか卵ご飯の朝食。中には寝入ってしまって食べ損なった参加者もあり。日本は、快晴の空。予定より早く6時過ぎ、成田空港着。休憩を取りながら、12時半、藤枝市役所に到着、解散。

オーストラリア・Penrith City Star 紙 2004年4月6日号、WESTERN WEEKENDER 紙 2004年4月8日号にも、この企画が紹介される。

参加人数 小学生 16名 中学生 10名 高校生 10名 *高校生・大学生ボランティアリーダー&サブリーダー15名、本部スタッフ7名同行

事業説明会 1月11日(日)午後1~4時藤枝市生涯学習センター第1会議室

事前研修 参加者研修 野外交流会

2月15日(日)と3月21日(日)午後1時~4時 於：藤枝市蓮華寺公園

英会話&グループミーティング

3月7, 14, 20, 28日(土日)午前9時から12時 於：藤枝市生涯学習センター視聴覚室

実施報告会 平成16年5月9日(日) 午後1時~4時 於：藤枝市役所大会議室

問い合わせ 特定非営利活動法人 静岡県教育フォーラム

(住所、電話番号等、略)

4月2日 ペンリス市主催 歓迎会

後藤彰・藤枝市国際友好協会会長(当時)挨拶 President Goto

皆さん、こんにちは。

藤枝市国際友好協会を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

本日は、私たちのためにこのように暖かい歓迎会を開いてくださり、誠にありがとうございます。私は昨年の4月、静岡県教育フォーラムの皆さんとともに、ペンリス市を訪れましたが、その訪問はペンリス市民の皆さんのおかげで、成功をおさめることができたことと確信しております。そして今回教育フォーラムによる2度目の訪問が実現したことを喜ばしく思います。

ご承知のとおり、私たちは本年ペンリス市との姉妹都市提携20周年と藤枝市制50周年を迎えております。この記念すべき年を、今回の訪問をはじめとした事業で祝うことができるのは大変うれしいこととあります。

また私自身、この事業に関わることにより友好の輪を広げるお手伝いができることを喜んでおります。日本の子どもたちには、ペンリスのバディや市民の皆さんと交流し、ぜひ素晴らしい経験をしてほしいと願っております。

今回の事業の趣旨を理解し、多大な支援をしてくださったペンリス市国際友好協会、ペンリス市、キングスウッド高校、ジャミソンタウン小学校の方々、その他この事業に関わったすべての皆さんに感謝申し上げます。

これから先も、ペンリス市・藤枝市の友情の輪が大きく広がっていくことを願って、私のあいさつとさせていただきます。

Good evening

On behalf of Fujieda International Friendship Society, I would like to thank you very much for this very warm welcome reception. It was a great honor to visit Penrith last April together with the Shizuoka Education Forum delegation. Our visit resulted in great success, because it was supported by the citizens of Penrith. And because of that success, the plan of Shizuoka Education Forum for a second visit has been realized, and that is why we are here again.

As you know, this year we are celebrating the 50th anniversary of Fujieda City as well as the 20th anniversary of our sister city relationship with Penrith. It is our pleasure to celebrate this special year with some mutual programs including this visit.

I myself am happy to be able to help promote mutual friendship through this program, and sincerely hope that the students from Japan will have a wonderful experience with their buddies and the citizens of Penrith as last year.

I would like to express a warm thank you to the Penrith International Friendship Committee, Penrith City Council, Kingswood high school, Jamisontown Primary school and to all who are very much supportive and understanding toward this program.

I would like to close my speech by expressing a hope that the friendship between citizens of Penrith and Fujieda will continue to flourish and grow.

Thank you very much

山下泰孝 静岡県教育フォーラム理事長挨拶 General Manager Yamashita

こんばんは、デイビス市長、ペンリス市役所職員の皆様、そしてペンリス市国際友好協会の皆様と、このプログラムにご参加下さいます学校の校長先生を始め、スタッフの皆様、そして、私達の生徒とリーダーのバディの皆さん。

私は、NPO 静岡県教育フォーラム理事長の山下です。本日は私達を快く歓迎して下さい、感謝致します。これから暫く静岡県教育フォーラムの活動を紹介させていただきます。これは、昨年の合宿のシドニーでの写真です。

最初に、NPO 静岡県教育フォーラムの歴史です。1976年に、野外教育活動も行う学習塾として創立しました。単に生徒達を教えるだけでなく、非行に走ってしまった子ども達や学校に行けない子ども達の対応も行ってきました。1997年には学習塾の組合に参画して活動を続け、2001年に学習塾から分離し、NPO静岡県教育フォーラムを組織、今日に至っております。

次に、NPO 静岡県教育フォーラムの活動です。一つはフリースクールで、学校の授業に参加できない生徒達を教えています。二つ目はカウンセリングで、心理学講座も開いております。これらはこちらに来ておりますリーダー・TさんとMさんが描いた私達のボランティアリーダー達の似顔絵です。私達のリーダーやスタッフは殆どが大学生と高校生で、週末や長い休みの時にボランティアとして私達の活動をお手伝い頂いております。

これらは私達が子ども達と一緒にやる活動のいくつかです。例えば、沖縄での春合宿、長野での夏合宿、富士山の冬合宿、川でのカヌー教室、いかだ作り、堅穴住居作り、オルゴール作り、理科実験教室、天体観測です。他に、当フォーラム所属のリーダー達が運営するストリートダンスショー「TO THE FUTURE」や進学相談会、講演会も開催致します。

今回のオーストラリア訪問に向けて私達は次のような活動をしてきました。このプログラムは昨年9月27日の第1回スタッフ会議で始まり、12月15日、参加者の募集を開始、数日で定員に達しました。今年1月11日、参加者の皆さんに対して実施説明会を開催。

2月15日は第1回の野外交渉会。チーム対抗で「だるまさんが転んだ」、「人間ジャンケン」、「メディシングボール」、「神輿リレー」、「人間知恵の輪」を行い、表彰式で最下位のチームがベジマイトを味わいました。

3月に入ると私達は毎週週末に英会話研修とミーティングを行って来ました。3月21日は第2回の野外交渉会。オリエンテーリングを楽しみました。そして、昨夜私達はペンリス市に向けて日本を発ちました。

まもなく私達の夢は実現します。私達はこのプログラムを通して、私達の子ども達とリーダー達がペンリス市のバディや皆さんと堅い友情を育むことを夢見ております。私はこの経験が必ずや彼らの将来の糧になると信じております。

私達は皆様のお陰でその夢が実現することを大変嬉しく思います。皆様に厚く感謝申し上げます。

ご静聴ありがとうございます。

Good evening Mayor Davies, Councilors, staff of Penrith City Council, members of Penrith International Friends Committee, principals and staff of the schools participating in the program, and all the buddies of our students and leaders.

My name is Yasutaka Yamashita, General Manager of NPO Shizuoka Education Forum. Thank you for the wonderful welcome you have shown us today. Tonight I will briefly introduce the activities of the Shizuoka Education Forum. This is the picture of last year's Spring Camp in Sydney.

First, the history of the NPO Shizuoka Education Forum. It was founded as a private school to conduct educational activities in 1976. As well as teaching the students, the group helps juvenile delinquents and students who don't want to go to school. In 1997 the group became a part of a private school Cooperative and then formed the NPO Shizuoka Education Forum in 2001.

Second, the activities of the NPO Shizuoka Education Forum. No.1. As Open School we teach students who can't to attend regular school. No.2. Counseling and teaching psychology. These are some pictures of our volunteer leaders, drawn by Takkun and Mido, who are here tonight. Our leaders and staff are mostly university and high school students who volunteer their time on weekends and holidays to assist with our activities. No.3. Here are some of our activities with the students, like Spring camp in Okinawa,

Summer camp in Nagano, and Winter camp in Mt. Fuji, river canoeing, rafting, making an ancient house and music boxes, science experiments, and astronomy. No.4. TO THE FUTURE. This is a street dance show which the leaders of this forum manage. No.5. Giving conferences and discourses

For this visit to Australia, we prepared the following activities. This program started at the 1st Staff Meeting on September 27th last year, and started to accept applications to this program on December 15th. In a few days all positions were filled. On January 11th we had our first information session for the participants.

February 15th was the first games day. We played 'What's the time Mr. Wolf?', 'human rock-paper-scissors', 'over and under', 'chariot races', and 'human chains'. At the award ceremony, the members of the last place team tasted vegemite. In March we had English conversation lessons and meetings every weekend.

March 21st was the second games day. We enjoyed orienteering. And last night we left Japan for Penrith.

Soon our dreams will come true! Our dream is that through this program our students and leaders will cultivate firm friendships with their buddies and people of Penrith. I believe these experiences will be very significant for their future. We are very glad to carry it into action by the grace of you. We would like to express to you our deepest gratitude.

Thank you very much for your kind attention.

4月3日 送別会

後藤彰 藤枝市国際友好協会会長 (当時) 挨拶 President Goto

皆さん、こんばんは。

藤枝市国際友好協会を代表しまして、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。私たちは昨年と同様、子供たちが人と人の触れ合いの大切さを、オーストラリアでの友達との交流をとおして学んでくれることを願っておりました。

今回の滞在は時間的に限られたものでしたが、ペンリスでの貴重な体験は、子供たちにとって、また大人たちにとっても生涯忘れることない、一生の宝となったと実感しています。

す。

この貴重な体験に、温かいご支援とご協力をいただきましたペンリス市の皆様に心から感謝いたします。今回の訪問は、姉妹都市提携20周年の年に行なわれた記念すべき事業のひとつとなったと思います。そしてペンリス市民の皆さんのご尽力なしでは、このような素晴らしい時間は過ごせなかったと思います。

姉妹都市提携20周年を記念して、毎年恒例の交換学生事業やペンリス市民訪問団の藤枝訪問、両市協同の美術展「姉妹都市」などが計画されています。これらの事業を通して、ペンリス市民の皆さんに再びお会いできることを楽しみにしています。

結びに、両市の友好の絆が今後さらに深められますこと、またペンリス市民の皆さまのますますのご発展をお祈り申し上げて、お礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

Good evening.

On behalf of Fujieda International Friendship Society, I would like to take this opportunity to say a few words of gratitude. As well as last year, it has been our desire that each one of the students would learn the importance of interaction with friends in Australia.

Our stay here in Penrith has been very short, but I believe that the students have had a valuable experience, which will serve them a wonderful memory that lasts a lifetime.

I would like to express my sincere appreciation to the citizens of Penrith involved in this program for all their effort and support. I am certain that this visit has become one of the memorable achievements within this special year to observe the 20th anniversary of our sister city relationship. Without everybody's hard work, we would not have had such a wonderful time.

Other programs such as the annual student exchange program, Penrith delegation's visit to Fujieda, and the collaborative art exhibition titled "Shimai Toshi" are planned to celebrate the 20th anniversary of our sister city relationship. We are very much looking forward to these programs and meeting citizens of Penrith again at these occasions.

Lastly, I would like to wish Penrith city much continued prosperity, and wish for continued strong friendship between our two cities.

Thank you very much.

山下泰孝 静岡県教育フォーラム理事長挨拶 General Manager Yamashita

こんばんは、みなさん。ペンリス及び藤枝両市の皆様や、両市の国際友好協会の皆様、またジャミソンタウンパブリックスクール及びキングスウッドハイスクール、両校の校長

先生を始め、スタッフの皆様、そして、私達の生徒とリーダースタッフの素晴らしいバディの皆さんのお陰で、今年のペンリス市での合宿も、本当に素晴らしいものになりました。

昨日の公式歓迎会や両校への訪問、そして昨夜のパーティに、今日の Tench Reserve での活動、これらは私達が目論んでいた以上に、より深く、かつより強く、お互いの心を結び付ける、とても有意義なものになりました。私達の生徒やリーダー達、素晴らしいバディの皆さん、そして両市のスタッフ皆のさんが、友として群れ集い、私達を隔てる大海を越える強い絆を築いてきたと思います。これは永遠に皆様の心に息づくものと思います。

私達は、これまで 6 ヶ月に渡って両市、両国際友好協会の皆さんと両校の皆さんには大変お世話になりました。このプログラムは、私達、静岡県教育フォーラムだけでは決して成し遂げられるものではありませんでした。厚く感謝申し上げます。私達のリーダーやスタッフ達はこのような経験を通して成長し、学んできたと思います。そして、彼らは姉妹都市提携 20 周年の両市のより深い交流に貢献するものと信じております。

最後に、リーダーのミカちゃん。ここにいるリーダーの中で最も長い、3 年以上に渡って私達の活動を支えてくれて、本当にありがとう。

ご静聴ありがとうございました。

Good evening, all. This camp in Penrith became a really wonderful program, thanks to the people of Penrith and Fujieda Cities and the members of both city international friendship societies, principals and staff of Jamisontown Public School and Kingswood High School, and the wonderful buddies of our students and the leader staff.

Civic Welcome reception, the visit to schools yesterday, and the student party last night and today's sports & activities in Tench Reserve will become a very significant thing connecting our hearts more deeply and strongly than any of us thought. I think that our students and leaders, the wonderful buddies and staff of both cities have come together as friends. They have made a connection that will go beyond the seas that separate us. This experience will remain in their hearts forever.

We are indebted to the people of both cities and both city international friendship societies, and you, both schools, very much for these six months. It could never be accomplished only by us, the Shizuoka Education Forum. You have my deepest thanks.

I think that our leaders and staff have grown and learned from this kind of experience, and for some students it'll become an opportunity to lose their fear of going to school. I believe that they who had such an experience contribute to a deeper exchange of both cities with the 20th anniversary of the sister city relationship.

Finally our leader, Mika. Thank you very much for sporting with our activities for more than three years, the longest of our leaders.

Thank you very much for your kind attention.

参加者代表挨拶・M. S. さん, M. N. さん

(2人で) Good evening.

(N.) My name is Nana.

(S.) My name is Shiho.

(N.) We are happy to visit to your school,

(S.) and to make friends with our buddy.

(2人で) Thank you very much.

リーダー代表挨拶・M. M. さん

Good evening, Everyone

Thank you very much for having such a wonderful farewell party and giving me an opportunity to make a speech. Time has passed quickly, since we last came to Penrith and it is amazing to have met you all again here.

Even though we live in a world of so much information and endless possibilities, we still fight each other. But even in a world like this, we have become friends. The time we have shared, is a once-in-a-lifetime experience.

We especially can't forget the sparkling eyes of the children. They are from different countries and cultures, speak different languages, but could communicate with each other. Through this experience, I learned that trying to understand each other is really important.

Finally, we are really grateful to all the people who have been very cooperative and made this all happen. I'm proud that this very day makes a new history that marked the 20th anniversary of the exchanges between the two cities. And I hope that this great exchange will continue well in to the future.

Thank you very much.

参加者感想文

M. S. さん(小1)

オーストラリアでダニエラにやさしくしてもらいうれしかったです。バディーのしょうがっこうでみんなにいろいろきかれてドキドキして、みんなとちがうところでサンドイッチたべました。どうぶつえんでコアラをみたのがいちばんよかったです。ピザパーティーでねむかったので、たべれなかったです。またいきたいです。

O. J. 君(小1)

ぼくわ、はじめていきました。はわいにもいっしょにいきました。どうぶつえんにきました。

A. S. さん(小2)

おおすとらりあにいったのしかったよ。はじめてがいこくにいったから、ちょっときんちょうしてたよ。バディーがいてることは、はじめはわからなかったけどだんだんわかってきたよ。

E. A さん(小3)

わたしが一番楽しかったことは、どうぶつ園です。わたしはコアラとしゃしんをとったり、カンガルーにえさをあげたりしたことが、うれしかったです。わたしがびっくりしたどうぶつは、エミューです。わたしがさいしょエミューを見たとき、大きくて、かわいいなと思いました。でも、エミューのところへいったらおいかけてきたのでこわかったです。わたしのすきなポッサブがいなかったの、ざんねでした。

わたしは、もう1こ楽しかったことがあります。ばでいーこのこうりゅうです。わたしはステファニーというやさしい女の子でよかったです。わたしが最初バディーにあった時はえい語がぜんぜんわかりませんでした。でも、だんだんはなせるようになったので、うれしかったです。わたしはバディーとわかれるときなきそうになってしまいました。でもバディーとなかよくなれてうれしかったです。わたしは、また来年あいたいなとおもいました。

M. N. さん(小3)

わたしはバディとあそんだことが一番たのしかったです。バディがなわとびをかしてくれたので、そのなわとびで二十とびをやりました。みんなはく手をしてくれたので、とてもうれしかったです。つぎにたのしかったのはバーバーキューです。バディがフラフープを手でやったり、首でやったりしていてすごかったです。また行きたいなあと思いました。

A. K. 君(小4)

オーストラリアでバディーと一緒に遊んだりしました。バディーとはすごくなかがよくなれました。バディーがしゃべっている事もちょっとは分かります。もっと勉強して路子さん(市の通訳)のようにえい語もしゃべれて日本語もしゃべれるつうやくの人になりたいです。

T. E. さん(小4)

My best place is Penrith house. I like zoo so much and I like Australia is very

nice country. like Australia so ? I enjoy penrith school . My buddy is funny and very kind me. And my friend Mao, her buddy and my buddy are friends. So, I'm glad ” I'm glad you see you. “ I said. I'm surprised Australia hamburger is very big and not ate cows meat, Finish Love Eri.

M. M. さん(小4)

わたしが、一番楽しかったことは BUDDY と遊んだり、おどりをしたことです。なぜかという初めのおどりで、すごくすごく楽しかったからです。

O. M. 君(小4)

初めて外国に行って、ドキドキしたけど慣れて、楽しく過ごせてよかったです。また行きたいです。

O. R. 君(小4)

ぼくは、はじめてオーストラリアにいきました。ぼくは、ほかにもハワイ、グアムにいった事があります。オーストラリアの小学校では、サッカーやいろいろやりました。昼食のサンドイッチの中みがすごかったです。バディの名前は、Michael Newman(マイケルニューマン)です。ぼくは、4月4日にバディがきてプレゼントをもらいました。じょうぎ、えんぴつなどがはいていました。ぼくは、バディとわかれるのがさみしいです。でも、写真やいろいろあるからきねんにとっておきます。さいごに一言、ぼくはNewman という友だちができてうれしかったです。

F. K. 君(小5)

僕は、初めてオーストラリアに行くことを聞いてびっくりしました。聞いた時から、いろいろありました。英語を覚えたりしました。そして、ついにオーストラリアに行く日がきたのです。僕は朝からドキドキしました。僕は、バスで空港に行きました。飛行機にのりながら、ゲームをしながら、オーストラリアにむかいました。オーストラリアについて、いろいろありました。バディーにあったり、いっしょに写真をとったりしました。ほくにもパーティーにも行きました。楽しかったです。また行きたいなと思いました。

M. S. 君(小5)

オーストラリアでは、小学校へ行ったり、バディーと遊んだり、ホワイトシュータースタジアム見学したり、フェザイデイル動物園へ行って楽しかったです。また、行きたいです。

N. Y. 君(小6)

ぼくはえいごをなっていますが、外国人の人と話すことはめったにあえないので、今回

のオーストラリアではとてもきちょうな思いでを作れました。またこれるきかいがあればまたきたいです。

T. Y. 君(小6)

最初の方はさみしくて帰りたいと思ったけど、なれてくるとすごく楽しかった。バディとはあまり話せなかったけど、なおき君と友だちになれた。それと、2日目後半から元気になれてよかった。

I. S. 君(小6)

僕は、このオーストラリア合宿にこれで本当に良かったです。僕は海外にくること、飛行機に長時間のること、英語でずっとしゃべることなどすべてがはじめてでした。最初はどきどきしたけれど、いっしょのチームの人達と仲良くなれたりしてとてもおもしろかったです。僕はバディとあまり長い間はいられなかったけれど、少しずつ仲良くなれてきました。そして、かなり仲良くなり、一緒にピザを食べたりできるようになりました。全然英語はできなかったけれど、身振り手振りで伝えられるようになりました。カンガルーにえさをやったりもできました。また来てバディに会ったり、ゆっくり見学したいです。

Y. SW君(小6)

ぼくは、オーストラリアに行くのがはじめてだったので、すごく楽しみでした。オーストラリアにはコアラとかカンガルーを早くみたいなーと思いました。ひこうきでははじめはちょっとよってしまっただけで、ぐっすりねむれました。オーストラリアのりょうりもおいしかったです。買い物ではおみやげをいっぱい買いました。また来年もオーストラリアに行きたいです。

H. T. 君(中1)

ぼくは、最初とても不安でした。でも、オーストラリアの人はどんな人にもやさしくてとてもなつきやすかったです。でも、別れるのはとてもかなしいです。でもかなしい時やくるしい時に、オーストラリアの人のことを思い出せば、そんな時でものりこえられると思います。だから、いつでもオーストラリアの動物や人を思い出したいです。あと、バディーとショッピングしたことも思い出でした。2回しかバディーと会えなかったけど、一つ一つがとてもいい思い出になりました。

W. A. 君(中2)

ぼくは、オーストラリアにきた3日間がとても楽しく短いように感じました。高校に訪れてバディーと初めて会ったときのこと、一緒に食事をしたり、クッキーを作ったこと、その日の夜にピザパーティーでみんなとピザを食べたこと、次の日にバディーやリーダー、グル

ープのみんなと買い物をしたこと、バーベキューのときに人間知恵の輪などをして楽しんだこと、送別会でおどったことなど、今でも思い出すことができます。しかしとても短くて残念です。ぼくはバディーと一緒にいたときのことを忘れたくありません。いつかまたオーストラリアに行ってバディーと再会したいです。

M. M. さん(中2)

短い間だったけど、とにかく楽しかった。特に Buddy といろいろ話せたこと。最初は、恥ずかしいし、英語も話せないし、全然しゃべれませんでした。でも、だんだんかよくできて、送別会でのダンスはすごく思い出に残りました。お別れの時に「離れていても家族だよ。と言ってくれて感動しました。他にも、広いところでバーベキューやラグビーをやったり、動物園で、コアラやカンガルーに触ったり・・・、と普段は絶対できないことをたくさん経験することができました。リーダーや友達ともたくさん話ができよかったです。本当に夢のような5日間だったと思います。Buddy やリーダー、友達と出会えたこと、5日間で学んだことは一生忘れません！！参加して、本当に、本当によかったです！！！！リーダーやスタッフのみなさん！！Thank you !! いろいろありがとうございました！！

I. H. さん(中2)

私はとても英語がニガテで、今回も少し心配でした。なかなか Buddy とも話ができませんでした。でもだんだん言葉がつうじなくても、一緒にいて楽しいと思いました。Buddy の家族とも仲良くなれて、すごくうれしかったです。今までは「英語なんか…」と思っていたけれど、「英語をやっぱり勉強したい」と思うようになりました。すごくいい体験になりました。Buddy と手紙（文通）をやることになり、英語をますますやらなければいけないなあと思いました。私にとって海外旅行は初めてだったけれど、すごくいい思い出になりました。オーストラリアのこともすごく知れたのでとてもよかったです。来年も行けたら行きたいと思いました。みなさん本当にありがとうございました。

U. S. さん(中2)

私は、この交流合宿でいろいろなことを学びました。その中でもまず、英語の大切さにあらためて気付きました。それは、英語がわからないと Buddy やオーストラリアの人とお話できないからです。もっといろんな人と話をするために、英語の勉強をたくさんしたいなあと思いました。あと、仲間や友達の大切さにも気付きました。Buddy の言っていることがわからなかった時、同じグループの人が親切に教えてくれたりしました。だから、私は Buddy と話のできたので、とてもうれしかったです。また、この合宿に参加したいです。

N. Y. さん(中3)

今回はとっても楽しかったです。それに Buddy の子とも英語で話せてすごく新鮮な感じ

がしました。特に印象深かった事は、オーストラリアの子は男の子も女の子も先輩も後輩もあんまり関係なく仲が良いことでした。先輩に気軽に話しかけるという私の周りではありえないことをやっていてすごいと思いました。日本もそうなるといいなと思いました。

S. S. 君(中3)

僕は今回の旅行でいろいろ初めてのことを経験しました。そして、見知らぬ多くの人と、英語を使ってゆっくりですが少しずつ話すことができました。自分の言った英語が相手に伝わった時は、とてもうれしかったです。あまり経験できないことが経験できてよかったです。

K. T. 君(中3)

ほとんど5日間、この1週間のはじめに思ったのは、不安だけだった。なぜだというと、飛行機、海外、クルージング、バディーといろいろ初めてだらけだったからだ。成田空港では、きんちょうはしなくすらすら行けて、とびたつ時すごかつそうろが長くてびっくりした。バディーとの出会いは、呼ばれたしゅんかんに「はい」と言ってしまい、バディーもおどろいていた。それで、こういうことがあったからバディーとも仲良くできた。あと、ぼくのバディーの友達の女の子とも仲良くできた。最後には、親しみをこめてあいさつをしてくれた。「うれしかった」これが心にすごくのこったこと。

Y. T. 君(中3)

僕は最初のバスですごく疲れてしまって、飛行機にのっている時はずっと眠ってしまいました。でも、オーストラリアについてすごく広いことに感動しました。1つの家はほとんどいっかいだてでした。二日目には高校についてバディーと会いました。きんちょうしたけど、自分の名前と好きなスポーツを言いました。なんとか伝わったらしく、バディーのアーロンも返事をしてくれました。ドラマを見たときは、すごくビックリしました。みんな、どうどうとしていてすごかつこよかったです。三日目はみんなでスポーツをやりました。こしが心配だったけれど、ボールもけて楽しかった。バディーとも一緒に遊びました。一番心に残ったことは、みんなでおどったりしたブッシュダンスをやったときです。真中に出て踊った人達はすごかつこ良かった。自分もなにかやりたくなかったけど、何もできないので、できる人がうらやましかった。動物園では、すごかつくさんの動物がいた。見たことない動物が多かった。全体的にすごかつ楽しかった。

T. N. 君(中3)

オーストラリアの合宿で僕が一番楽しかった事は、4月3日の小学校でやった送別会別会でした。夕食をバディーと一緒に食べるのがよかったです。僕は、オーストラリアに行く前と行った後では、自分でも自分的にも変わったなあとと思いました。前までは人前に出るの

が恥ずかしかったけど、オーストラリアの合宿で恥ずかしさがなくなったり、いろいろな自分の悪い所が直りました。

W. A. さん(中3)

私はこの5日間本当に貴重な体験ができて良かったです。出発する前、飛行機にも乗ったことがない私がオーストラリアなんて、と不安ばかりでした。しかし、実際行ってみると、私のバディのメリッサはとても明るくて、会話をする時も、ジェスチャーをしてくれたのでたくさん話す事ができました。買い物の時も、私の財布を見てお金を出してくれてとてもやさしかったです。国が違うたくさんの人と話ができ、うれしかったです。最後に、先生の皆さん、スタッフの皆さん、リーダーの皆さん、本当にありがとうございました。

S. E. さん(中3)

最初、バディと仲良くなれるか心配でした。でもだんだんときんちょうもとけてきて、英語(単語)が、スムーズに出てきました。相手のバディ(ジェシカ)が、私にわかりやすいように、ジェスチャーを使ってしゃべってくれました。本当に助かりました。最後の日にプレゼントをわたしました。すごく喜んでくれました。特に私が“がく”に入れた絵(自分が描いた絵)をよろこんでくれました。そのときはうれしかったです。別れの時、すごくさみしかったです。たったの5日間だけだったのにこんなに深い関係(友達)になれてよかつとおもっているし、来て本当によかったです。私の夢がまた1つできたのでよかったです。

A. Y. 君(高1)

僕はこのオーストラリアへの旅で大きな物を二つ収穫できたと思う。まず1つ目は友達だ。BUDDYをはじめ多くのオーストラリアの友達、そして一緒に5日間を過ごしたみんな。いつまでもこの旅で出会った人とは仲良くしていきたいと思っている。もう1つは英語についての自信だ。最初は上手く話せなかったらどうしよう、と不安があった。でも、ジェスチャーや1つの単語だけでコミュニケーションが上手くとれた。まだまだ僕の英語は下手だ。この旅を通してこれから、もっともっと英語を勉強したいという気持ちもできた。この旅に参加して本当によかったと思う。こんな旅を共に作ってくれたBUDDYやリーダー、友達に本当にありがとうと言いたい。

Y. K. さん(高1)

一番の思い出は、Buddyと一緒にしたブッシュダンス……。自分で英語は苦手だと思っていたので、本当に大丈夫かなあと思って臨んだ交流会でした。私のBuddy、Amyはすごく話すのが早かったけれど、私のことを気遣ってジェスチャーを入れてくれたり、簡単な文法にしてくれたのはすごく助かりました。英語の話せない私にあいそうをつかされたと思って不安になったこともあって、大変だったけれど、その経験からつくづく英語を話せるよ

うにならないと実感しました。ブッシュダンス…etc ダンスはすごく好きだからいいかと思いはしたけれど、まさか人前で足を上げるなんて正直ビックリです。Buddy ともダンスや歌に関しては気があったのですごくよかったです。思わぬ出会いからの別れだったけど、本当に色々なことを学べて、本当に楽しかったです!! 英数科で英語をがんばります。

Thank you for everything.

N. A. さん(高1)

今回初めてオーストラリア合宿に参加して、とても楽しい5日間が過ごせました。バディーとの買い物が一番の思い出になっています。私は英語がぜんぜん聞き取れない上に話せなかったのですが、バディーの子が身振り手振りでいろいろ教えてくれますごく助かりました。バディーとの最後のパーティーでは、一緒に写真を取ったり、ダンスをしたり、ご飯を食べたり楽しかったです。すばらしい5日間をありがとうございました。

K. N. さん(高1)

私は今回二回目の参加でした。一回目とはまた全然ちがっていて、すごくビックリしました。ダンスショーやバーベキューなど、一度目よりもすごく充実していたと思います。残念ながら送別会の時体調を崩してしまい、行けなくてバディとお別れのあいさつができなかったのが、少し心残りです。来年ももしオーストラリアへくることになったら、ぜひまた参加したいと思います。ありがとうございました!!

Y. T. 君(高2)

オーストラリアでの体験はとても良い思い出になりました。バディーたちの英語が速くて大変だったけど、いい勉強になりました。海外旅行に行くのは初めてだったけど、楽しく過ごすことができよかったです。オーストラリアの自分と同年代の子のことがわかったし、オーストラリアの文化も少しわかったと思いました。

T. S. さん(高2)

オーストラリアの人々はとても温かくて、私達を喜んで迎えてくれました。Buddy と買い物をしたり、食事をしたりしてとても楽しくすごせました。他の子の Buddy とも話をして仲良くなれました。日本人とは違って型にはまらず、自由で、個性的で、魅力的でした。洋楽を聞いていたので少しは話が理解できました。でも、全くわからないときもあり、次に行くときは、英語力をつけて行きます。ただ日本にいて、ただ学校に通っているだけでは絶対に味わえない体験ができました。これからもさまざまなことに挑戦していこう!

W. T. さん(高3)

今回オーストラリアに始めていったけれど、“バディ”の子が親切で単語単語の英語でも理解（考えた後）してくれたから、会話らしいことが少しできた気がした。本当に英語がうまくなりたいとあらためて思った。

リーダーなどスタッフの人&今回のメンバーへ、

いろいろご迷惑をかけてしまったけど、すいません。テンションが高くなっていたのでよけいです。旅行は本当に楽しくてワクワクしっぱなしでした。来年もこれからもまたいきたいです。

K. M. さん(高3)

今回は初めての参加だったけれど貴重な経験ができてよかったです。できれば来年やその次の年もオーストラリアに来たいと思います。今度はリーダーもやってみたいと思います。

サブリーダー、リーダー、スタッフの感想文

Y. N. 君(18歳)

僕は初めての海外で英語もしゃべれないけど、外国人とコミュニケーションをとることはできると知った。一番それを感じたのがダンスパーティーで、みんなが完全に一体化していた。ただしゃべるだけだと当然コミュニケーションはとりづらいけど、この旅はスポーツとかパーティーとか買い物とか、共に行動することで楽しめたし、信頼関係も生まれた。学ぶこともたくさんあったし、それ以前にすごい楽しめて、とても充実した旅になった。

I. M. さん(21歳)

私はこのオーストラリアに来て、とても4泊5日という短いあいだでしたが、とても楽しくすごせてよかったです。バディーの人とも本当にしんせつにしてもらって、楽しい時間を過ごすことができました。ただ四日目に体調を崩してしてしまって、みんなに迷惑をかけてしまいました。

O. T. 君(17歳)

今回のオーストラリアは僕にとって最後のオーストラリアだと思う。けど、今回のオーストラリアの旅は最後にふさわしい最高のものになった。去年も僕はオーストラリアの旅に参加したから今回は楽かなあ〜って最初に思ってた。けど、まったくといっていいほどに前回とは違いかなり大変だった！！でも疲れきった体にそそがれるスタッフ会議中のビー〇はとてつもなくうまかった〜(笑)今回本当にたくさん笑った。本当いやなことをすべて忘れられた気がする。それは子供たちのおかげだと思う。子供たちから笑顔をもらいパワーをもらった。本当素晴らしい参加者の集まりだなあ〜ってすごい思った。みんなと

別れるのは寂しいけどみんなとこうして出会えた事本当に感謝したい。みんなありがとう。ああ〜僕は本当に幸せものだなあ〜☆

S. S君(19歳)

今、僕は、サッカー（リーダー）の”ハクション大魔王”のボールペンでこれをつづっています。今回の旅は、自分にとっても、メンバーのみんな（リーダーも）にとっても、大きな収穫になったと思います。初日は、Cグループはまとまりがなくて、どうなるかかと不安に思ったけど、最後には見違えるほどのまとまりを見せ、本当に人間の間に絆が生まれたのを感じました。

オダマサは最初、帽子を深くかぶって、話しかけても何も答えないようなおとなしい子だったけど、日に日に変化を見せ、最後には、自分からお土産の事や、友達と遊んだこと、英語の事などを話しかけてくれるようになって、マジ感動しました。

キヨは最初から、わりと心を開く奴だったけど、最後にはさらに自分の仕事を探し、俺に仕事を出すほどの働きを見せ、きっと自分の居場所を見つけることができたんだと思います。

ケイは、どもりはあったけど、本当にいろいろ質問とかしてきて、笑顔も何度か見ることができました。

タイチはもう少し、自分を見つめる努力が必要かもしれません。どうしても少しわがままが出てしまい、面倒を見る立場に立つことを少し覚えるといいかもしれません。

ダンスのshowも大成功で、提案してくれた姉ちゃんと、きっと自分のことで精一杯だったろうに成功を収めてくれた山田に本当に感謝です。To The Future を当して自分の好きなダンスがここまでうまく使ってもらえるのはマジでうれしいことだし、自分の人生を後押ししてくれるような活動です。国境なんて、簡単に越えられるんだから、がんばれば何だってこえられることを皆に知ってもらいたいです。

ミドも、山田も本当によくがんばってくれて、Yは今回が初めてだから、たぶんすげえ疲れたと思います。

タッチは、いつもよく言うことを聞いてくれたけれども、もう少しはっちゃけることを覚えるとより楽しめると思うから、そういうのをふっていきたいと思いました。

とにかく全員に良い変化が見られた最高の合宿でした。ありがとうございました。

Y. A.さん(20歳)

今回の旅は私にとって大変大きな意味のあるものとなりました。子どもたちとうまく接するにはどうしたらいいか、と自分なりにいろいろ考えていたことがことごとくうまくいなくて、正直行って途中、焦りと悲しさでどうしたらいいか分からなくなってしまいました。子どもたちはその瞬間瞬間でくるくる表情を変えます。頭で、今この子を傷つけない一番いい対応は・・・と考えているうちにまた相手は変化してしまっているのです。今考

えると、そんな不安が純粋な子どもたちに伝わってしまっていたんだと思います。また、子どもたちの素直な感情表現に対して、私はきっと日常生活で癖になってしまっている、自分の感情を偽ってでもうまくやろうという気持ちで接してしまっていたんだと思います。先生から子どもたちを喜ばせてあげなければまず自分が楽しくならないと、というお話を頂き、やっと自分の気持ちの大切さに気づきました。子どもの見せてくれる笑顔や涙は本当に純粋で、心から信じていいんだと自分に言いきかせて接するようになってからは、子どもたちが本当にいとおしく思えるようになりました。すごく大切なことを子どもたちに気づかされました。

また、リーダーのみんな、スタッフのみなさんにも多くのことを教えて頂きました。励ましてもらったり助けてもらってばかりで、とてもリーダーとしての役目が果たせなくてごめんなさい。リーダーのみなさんそれぞれに本当に尊敬できる場所があって、みんなと過ごしたこの時間は、まだまだ無知な私にとって大変価値のあるものとなりました。みんなの子どもたちに対する気持ちや、いろんな人に対しての、それぞれの性格を隠さないストレートな態度に多くのことを考えさせられました。今までになかった発見がたくさんあって、まだ頭がぼーっとしているような感じです。今回はリーダーでありながら、ほとんどが私が教わったことばかりで、しっかりした感想が書けなくて申し訳ないです。

最後になりましたが、ペンリスのみなさんのすばらしいもてなしや、参加してくれた子どもたちのご家族の私たちに対する温かいご理解、様々な手助けをして下さったすべてのみなさんのお力に感謝します。ありがとうございました。

M. H. 君 (20 歳)

今回は事前の交流会や英語の研修会を何度か行い、子どもたちがお互いに、またリーダー達と打ち解けてから参加できたことが良かったと思います。内容も昨年より工夫されていたと思います。また、2度目の豪州交流合宿への参加であったので、さほど緊張せずに行程を終えることができました。今回もまたけがや大きな病気などが無く、皆無事で帰ってこれたことがまずなによりです。今年はとても感動したことの一つに、星君らによるブレイクダンスがありました。今回の交流のなかでも習字、折り紙、スポーツなど言葉を超えて楽しめるものはたくさんありますが、その中でも一番大きなものを付け加えてくれたと思います。会場に一つの輪ができて全員を楽しませることのできるダンス、そしてそれができる人たちはやっぱりすごいです。また、リーダー達もみんな面倒見が良くて面白い人たちばかりなので、この仲間の中で行事に参加できて良かったと思います。

最後に、この企画に協力、参加してくれたペンリスの方々、藤枝の方々にありがとうございました。市制 50 周年の企画としてもとても良いものになったと思います。

Y. R. さん (21 歳)

この合宿を通して、子供達、リーダーみんな凄く成長したと思います。たとえ数日で

も、異国の地に親から離れて行く事はとても大変な事だったと思います。それでも、一日一日成長していくみんなの姿を見ていたら、私もがんばろうと思うことができ大きな力をもらう事が出来たと思います。オーストラリアにまた行く機会があっても、今回と全く同じメンバーで行く事はきっともうないと思います。だからこそ、みんなで過ごした日々や自分の感じた物、変わっていった物を大切に忘れないようにこれからもみんな頑張っていてくれたらいいなって思います☆とても楽しい三日間でした。ありがとう、みんな！ありがとう、ペンリス！！

I. Y. 君 (21 歳)

本当にお疲れ様でした。私にとって、この合宿は初めての経験であり、行く前は正直不安でいっぱいでしたが、多くのスタッフのみんなに支えられて、この合宿を成功させることができ、とてもうれしく思います。この合宿を通して、私自身教えられたことがたくさんありました。特に、小さい子供たちが日を追うごとに成長していく姿には感動しました。さすがに初めはバディと2人きりになると、言葉が通じないせいか、黙り込んでしまう場面がみられましたが、次第にフラフープや縄跳びで遊んだり、ボールを使ったりしながら、なんとか仲良くなろうと頑張っていて感心しました。さらには、英語でなんというかをリーダーに聞いて、実際に話す子もいました。最初はバディと会う不安だと口にしていた子に、「次はいつ会えるの？あと何回会えるの？」と聞かれたときには、こんなにも子供の心は変わるのかと本当に驚きました。旅の終わりには、皆そろって「楽しかった」と言ってくれたので、この合宿に参加して本当に良かったと感じました。「写真をとるよ」というと、子供たちがみな、どんなに疲れていても笑顔でピースしてくれたことが特に印象的でした。たとえ英語ができなくても、一緒に何かを作ったり、体を使って遊んだり、手をつないでダンスしたりすることで、子供たちは仲良くなれるということを改めて知りました。子供たちにとって、初めて出会う人と、しかも言葉が通じない仲間と友達になれたことは大きな自信になったことと思いますし、一回りもふた回りも成長したに違いありません。この貴重な経験をこれからの学校生活に生かして、友達をたくさん作ってほしいと思います。本当にありがとうございました。

Y. S. 君 (21 歳)

今回初めてオーストラリア合宿に参加した。今回は前回よりもスケジュールがきつくなっていたようで、オーストラリア滞在時間は三日間と短く、着いてすぐに歓迎会、二日目にはもう送別会とあわただしかった。今回もやはり思ったが、子供たちのエネルギーはすごい。常に全力疾走で充電が切れるとどこであろうと熟睡できる。まるでぜんまい仕掛けの人形みただ。行きの飛行機の中、子供たちは興奮していてなかなか寝てくれない子供もいた。なかには行きのバスの中ですでに疲れて、ずっとおとなしく寝ていた子供もいた。

寝てくれない子供は着いてからスケジュールがきついからばててしまわないか心配だった。けれど子供は侮れない、どこにそんなエネルギーを隠し持っているんだと思わんばかりの元気さで、騒ぎまくっていた。学校訪問、歓迎会、ショッピング、バーベキュー、スポーツ、ゲーム、送別会、カヌーオリンピック会場見学、動物園と三日間という短い期間で多くのことをこなし、Buddy と話をしたり、ショッピングに行ったり、子供たちも、リーダーも楽しくすごせた。今回はリーダーにも Buddy がついたのですごく良かった。自分の英語に対する考え方が変わった。高校のとき、英語は、将来海外に行くこともまずないし、海外で仕事するつもりはないから必要ないと思っていた。けれど、実際に海外に行くと、英語で会話をするともっと話せるようになりたいと思うようになった。そして自分の英語力の貧しさが情けなくなってしまった。リーダースタッフは子供たちに常について、子供たちの Buddy の言っていることをできるなら通訳してあげるべきなのだが、大人はまだ言っている事はわかる。相手も聞き取りやすいようにゆっくりしゃべってくれるが、向こうの子供たちは容赦ない。早いし聞きなれない言葉を使うし、こちらがわからないという表情をすると、相手も説明できなくて困った顔をしてしまう。通訳は自分には無理だった。

しかし子供たちは言葉は通じなくても一緒にスポーツをしたりして仲良くなれた様子だったし、会話も向こうの子は早口の英語、日本の子は日本語で会話していてジェスチャーを交えながらも、互いに理解できているようだった。普段外に出るようなことがない子供にとって今回のオーストラリア合宿は非常にいい経験であったと思う。自分達リーダーにとっても非常にいい経験だった。できるならばまたオーストラリアに行ってみたい。そして今度はゆっくりといろんなところを見て回って、Buddy の Kirk ともっとゆっくりいろんな話をしたいと思った。

S. M. さん(21 歳)

昨年に引き続き今回も参加させていただき、関係者のみなさんには本当に感謝しています。現在藤枝在住ではないため、他のスタッフのみなさんから一歩出遅れてしまったり、直前に自身の不注意により怪我をしまったりと、みなさんにご迷惑をおかけしたことを本当に申し訳なく思っています。私自身、スタッフとしても人としてもまだまだ至らぬ点が多く、反省することばかりでした。正直言って、前回とはまた違う今回の合宿には、直前まで参加を悩んでいましたが、今は参加できたことを本当にうれしく思っています。ありがとうございました。

今回しみじみと感じたことは、物事はいろいろな角度から見て、初めて真実や真相が見えてくるものだということです。たくさんの人々や物と接することはとても大切なことであるし、そこから学ぶことも多いと思います。しかし、一人の人や一つのものにとことん接することにより、今まで見えなかったものが見えてくるような気がしました。私一人の視点では見えなかったものを他のスタッフや子供たちから教えてもらったり、触れ合うう

ちに見えてくるものが多々ありました。

参加者全員と一人一人触れ合うこと、話すこと、それをするには少し時間が足りませんでしたが、その大切さを痛感しました。何人かと話を深めるうちに、夢を語ってくれる子達がありました。遠いにしろ、近いにしろ夢を持つこと自体が私はすばらしいことだと思っています。私自身も夢だけを力にここまでできました。何事も最後は自分自身の夢に対する強さと自分を信じる力です。まだそれを見つけてない子も必ず近い未来、自分だけの夢を見つけてくれることを信じています。私たちはそれを叶えてあげることにはできないかもしれませんが、しかしそれを応援してあげることが必ずできるはずです。この時代に夢を語るのには難しいかもしれません。堅実な道を歩むのが一番かもしれません。けれど今回何人かの夢を聞くうちに、やはりそういう気持ちは忘れずに生きていきたいと思いました。夢を叶える過程で、さまざまな想いをするはずで、その想いは将来必ず何かの役に立つのではないのでしょうか。

日常とは違う日々の中で、それぞれの視点で何かを感じ取ってくれたと思っています。今回はご兄弟の参加が多く見られましたが、それぞれ同じものを違う目で見えてきたことがわかっていただけたと思います。

子供たちの純粋さ、素直さ、元気のよさ、そして笑顔に幾度となく助けられ、私自身も多くのことを学んでこれたことをうれしく思っています。この出会いを大切に、日々スタッフとともに努力していきますので、今後ともよろしくお願いします。今回も藤枝市・ペンリス市両友好協会の皆様、関係者の皆様に本当に感謝しています。来年もまた多くの子供たちが多くの感動と喜びを手に入れられることを願っています。

S. S. 君 (22 歳)

このオーストラリア交流合宿は、私自身を変えることになったと本当に実感できた初めての体験でした。このプログラムに参加する前に私が考えていたことといえば、ただオーストラリアに行けるということに胸を躍らせていただけでした。自分のやるべきことは何かをしっかりと把握しようと努めることもせず、漠然と事前準備に参加していたこともあり、リーダーとして子供たちを引率していくことへの責任感に欠けていました。しかし、当日になり子供たちの顔を見て、そして実際にオーストラリアに着いてみると、一転してリーダーとしての役目を果たしたいという気持ちに変わりました。そのことが、思いがけず自分の立場を再認識させるだけでなく、わくわくさせることでもありました。現地で私が出会った人たちについては、暖かく歓迎してくれた全ての人たち、特にバディには感謝の気持ちでいっぱいです。今度行くときは、旅行者としてオーストラリアの多くの場所を訪れ素敵な人々に出会いたいと思っています。最後に、私の人生において今回のプログラムは非常に貴重な体験になり、思い出に深く刻まれるものとなりました。

The exchange program in Australia was the first experience that made me feel I really have changed myself. Before I joined this program, all I had in my mind

was just an excitement of being able to go to Australia. It means I didn't expect myself to take a big responsibility of leading a group of children. It was partly because of my laziness and few interests in that I didn't try to figure out what I would have to do or what others expected me to do in this program. However, soon after I saw the children's face and actually got to Australia, I began to feel responsible for everything, particularly for the children. Unexpectedly, this fact made me really not just serious, but excited because I realized that I was being of help and working for others. Speaking of the people I've met out there, I can't say how much I enjoyed spending time with him. I was really grateful to all the people who kindly welcomed me, especially my great buddy, his friends and family. Next time, I would like to travel all around Australia and see as many nice people as possible. What I want to say finally is that this program was one of my greatest experiences, which will remain deeply in my memory.

S. T. 君 (22 歳)

始めは言葉の壁から子供達がバディ達がうまくやっていけるか心配だったのですが、実際みんな仲良くなって予想以上に溶け込めていたので安心しました。今回、子供達にもリーダーにも、もちろん僕自身にもいい経験になったと思います。

K. G. 君 (22 歳)

私は、去年に続いて2回目のオーストラリア合宿に参加させていただきました。リーダーという立場でしたが、他のリーダーのサポートや、中高生のリーダーシップに助けられ、自分自身ほんとうに楽しむことができました。今年は、去年と違って私たちにもバディが用意されていて緊張する場面もありました。去年遊んだオーストラリアの子供たちとの再会や、一緒に行ったみんなの成長はすばらしく、感動的なものでした。私はもちろん、子供たちみんなにも、この合宿は思い出に残る貴重な経験になったと思います。最後に、この合宿を支えてくれた先生方、スタッフ、ジャスティン&ダニエラ、オーストラリアのボランティアの人たち、子供たちに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとう。

M. M. さん (22 歳)

今回は二回目の参加でしたが、前回と変わらず程よい緊張感と楽しみが入り混じっていました。しかし、今回はジャスティンやダニエラ（共に本事業英会話講師）の参加もあり、とても心強い面もありました。そして、前回同様、事前交流会や英会話レッスンで参加者とより多く時間を共有できたことは、やはりよかったです。

特に私は、交流合宿二回目ということもあり、どの主役の子供たちにとってもこの合宿が最高のものとなるように、よりスムーズになるように協力できたら、と特に心がけてい

ました。そんなとき合宿全体や現地でのミーティングで感じたことは、リーダー同士はもちろんのこと、先生方とでも、お互いの意見や気持ちをととても尊重し聴きあっていること
思ったことは互いに何の壁もなく、すぐにコミュニケーションが取れていることがいいこと
だと思いました。たてにもよこにも、年代や肩書きも関係なく相手を尊重するその基本的な態度が自然に行われている空間に、私はひそかに小さく感動していました。また、この活動の‘リーダー’には、いわゆるマニュアルがまったくありません。常に指示されることもほとんどありません。みんな、自分らしく自分のポジションを自然に臨機応変に持ちます。あうんの呼吸でというときもあります。本当にリーダー同士の気持ちや相手を知って信頼という基盤があつてこそのことであると改めて感じました。また、みんな感じたことをいつもまっすぐな気持ちで正直に言ったり意見しあったり、子供たち一人ひとりのことを本当に自分のことのように喜んだり、涙したりします。そんな中、今回、リーダーになりたいなあ、なれるのかな？という声があつて、四年目の私にはとてもじんと来るものがありました。飾らない自分たちらしい、それでも真剣であつたリーダーたちの思いは自然にやはり、伝わっているものだと、つながれていくものなんだなあと思えました。子供たちは、私たちより多くものを見て、知っている。ごまかしはききません。だからこそ、リーダー自分たち自身も自然な状態で笑ったり怒ったり泣いたり楽しむことを忘れない。どんな言葉やカウンセリングより、ただそんな姿が伝えるものもある、と常々思っていました。子供たちからいつも素敵なお話をたくさん教えてもらいますが、今回も本当に大切なことを思い返させてくれました。

そんな子供たちも、みんなオーストラリアでの交流や環境でとても生き生きしていました。ドキドキしたり、初めての出会いにたくさん遇って、帰る頃にも、これからあれをやるうこれをするうと言ってはとても目が輝いていました。本当に多くの協力をいただいたオーストラリアのみなさまやバディ、国際友好協会の皆さんに感謝しています。

そして、参加してくれた子供たち、父兄の皆様、リーダーのみんな、スタッフの先生方本当にありがとうございました！！

K. A. さん(25歳)

参加してくれた子ども達、ホントに楽しかったね。リーダーのみんな、お疲れ様でした。帰ってきた日の夜のリーダー、スタッフの会合で、最後の最後に我慢しきれず大泣きしてしまいました。嬉しかったんです。ペンリスの人たち、J氏の家族（ペンリス市在住）のあたたかい心に感動しまくりでした。この経験は、私の日頃の子供達への指導にもかなりの気合を入れてくれました。ありがとう！

J. C. 君(本事業英会話講師)

昨年のオーストラリア春合宿前に、私は英会話の講師としてこのNPOの活動に初めて参加しました。その時に、リーダーとスタッフの皆さんの努力がはっきりと見えて、とて

も感動しました。しかも、ペンリスから帰ってきた後、不登校の子供達の気分が全く変わり、学校にも行くことができるようになり、また無口な子供達が普通しゃべるようになったと いうことでした。それを聞いて、この合宿は価値あるものと感じました。

そんなわけで私は今年の合宿に参加することにしました。それに備えて、3月の毎週日曜日、子供達もリーダー達も朝早く起きて、英語研修をしてきました。今年も私は講師として働いてみて、皆さんは本当に頑張っているなと思いました。勿論生徒達の英語能力に差 がありましたが、小学生から高校生まで、皆さんが一生懸命英語を勉強してきました。

個人的に言うと、（私が）ペンリスの出身として行くことができてうれしかったです。日本に来た時からいろんな人達が支えてくださいましたので、子供達、リーダーとスタッフ達を助けてあげることができて満足しております。

ペンリスにいた時、希望どおりに皆さんはバディーと仲がよくできました。言葉がうまく通じなくても、いろんなゲームで相手の心がわかってきました。私は日本に住んでいる外国人なので、言葉が違って友達ができることを自分の経験でわかります。それがわかると、国の間にある壁が低く見えてきて、人間的に成長ができると思います。

今回の参加者が毎日オーストラリアでの体験を思い出して、その経験から成長ができれば、非常に素晴らしい成果だと思います。

Dさん(本事業英会話講師)

Australiaはほんとうに たのしかた です。I was so lucky to join the trip. I enjoyed watching the Japanese students and Australian students become friends. It was so exciting to watch the transition from shy foreigners to "hugging" friends. I was so happy to enjoy a few days in Australia with such a great group of people. I really enjoyed the "bush dance"! Let's go visit our new friends in Australia together again! Thank you!

I. R. さん(藤枝市国際友好協会職員)

今回も昨年に引き続き、ペンリスと藤枝との橋渡し役として、”春ゆめの大自然交流合宿”に参加させていただきました。出発前には不安なこともいろいろありましたが、子供たちがペンリスのバディーたちととても楽しそうに交流している姿を見て、また目を輝かせながら、楽しかったことを話してくれるのを聞いて、本当に良かったと思いました。このペンリス訪問をきっかけに、子供たちがますます成長していってくれることを期待しています。リーダーの皆さん、ペンリス市の方々他、今回の訪問を支えてくださった皆さん、本当にどうもありがとうございました。

M. Y. 先生(養護教諭)

自分が普段、生活している世界って、本当に限られた狭いものなんだと感じます。時には思い切って違う世界に飛び込むと、自分が変わるきっかけになったり、ステキな時間が持てると思います。一緒に時を過ごした子供達、リーダー達、オーストラリアの方々、ありがとうございます。次への活躍を期待しています。

S. Y. さん(藤枝市国際友好協会副会長)

今回、藤枝市国際友好協会（F I F S）後藤会長と共に、2回目の参加をさせていただきました。子供達は日がたつにつれ、まるで氷が溶けていく様にリラックスし、友達やバディーと戯れ始めました。（もしかしたらリーダー達が一番楽しそうに遊んでいたかもね・・・）時にはビシッとくぎをさされてはいましたが。献身的なリーダー達のもとで安心して身をゆだね、自分の居場所を見つけていく子供達。そんな開け放たれた心から、言葉のわからないバディーに飛びこんで行く勇気が生まれ、バディーと打ち解けあっていくうちに、「自分はやれるんだ！」という自信が生まれてきたに違いありません。私はそんな光景を見た時、年齢や髪の色、言葉の違いを超えて、何かとても純粋なパワーが生まれ出てきて、子供やリーダー、大人までもを大きく包んでくれている様な気がしたのでした。そして、年甲斐もなく、自分もこれからなんでもやっていけそうな思いがしたのでした。

この企画に全面的にご協力してくださった、ペンリス、藤枝両市。ジャミソントウン小学校、キングスウッド高校の先生方。そして、朝昼晩の食事、すべての活動を準備してくださったペンリス国際友好協会の会員、ご家族。バディーとご家族の方々。この20年間、絶える事なく両市の絆を深めていく上でご尽力くださったいるF I F Sのメンバーの方々に、心から感謝申し上げます。ずっと小さい子のママで胸に抱いてくれていたDさん、オーストラリアの人に日本語で話しかけていたH. Jさん、ありがとう、

両市の掛け橋になってくれました。お疲れ様！そして、Jさん、Dさんも含めた、すばらしいリーダー達へ：いつまでも純粋な熱い心を忘れずに、デッカクなっていこう！

特大ジョッキで、チアーズ！！

後藤彰(当時藤枝市国際友好協会会長)

ペンリス市到着後、早速学校訪問でした。子供達とバディーの対面後、すぐにペンリスの子供達との友情が芽生え仲良しになる子供達は、素晴らしい。楽しい交流会では何年も前からの友達のようにビックリ。まさに夢のオーストラリア大合宿の成果である。しかしこの様なチャンスを与えてくれたご両親、そしてリーダーの皆様の献身的な努力には感激しました。そして、ペンリス市の国際友好協会の皆様のご奉仕に心から感謝いたします。

参加した生徒の皆様が、今後大きく成長されるよう期待いたします。

山下泰孝(静岡県教育フォーラム理事長)

僕の Buddy はどんな子だろう？金髪かなあ？優しい子かなあ？そんな期待に胸を膨らませ、飛行機はゴーゴーと音を立てながら一路シドニー空港に。憧れのオーストラリア大陸に立ち、バスがいよいよ Buddy の待つ学校に向かうと、一転して不安がよぎり始める。私、英語がしゃべれないけど、Buddy と話できるかなあ？僕も。リーダーのお兄さん、話してくれるかなあ？と、遂に Buddy との対面。ゲ、ゲッダイ！Yes、Yes の連発。ジェスチャーと日本語で悪戦苦闘。でも、子ども達は通じ合う。そして、それがお互いの心を開かせ、止め処もなく流れる別れの涙に変わり、不登校の壁をも切り崩す。正に“言葉を越えた”交流であり、これが私達が目論んだ本事業の“ゆめ”なのです。

ご存じ通り、今年はペンリス・藤枝両市の姉妹都市提携 20 周年の記念すべき年であり、加えて、本事業が藤枝市制 50 周年事業に採択され、昨年よりもましてペンリス市、藤枝市両国際友好協会を始め、ペンリス、藤枝両市及び、本事業に賛助頂きました企業、並びに個人の皆様には大変お世話になりました。本事業は私達、静岡県教育フォーラムだけでは決して成し遂げられるものではありませんでした。皆様の力強いご支援、ご協力の賜と感謝しております。参加しました子ども達が Buddy 達との交流で感じたように、私達も横にがっちり手を繋いでいけば、このような素晴らしい事業を成し遂げられることを体得しました次第です。正に人の輪、和がなせる技です。皆様には改めて感謝申し上げます。ありがとうございました

ロンダさん作「2004 春ゆめの大自然交流合宿コラージュ」が届きました。2004. 6. 12
2004 年 6 月発行のペンリス市国際友好協会作成「Celebrating 20Years OF International Friendship」に当フォーラムが紹介されました